

## 定例市政記者クラブ・市長懇談会（1月）の結果について

日時 平成25年1月8日（火）午後2時～午後2時35分

場所 市役所部2階第4委員会室

出席 市政記者クラブ10社

会見内容

### 1. 話題提供（3項目）

#### 1. 国設阿寒湖畔スキー場キッズデーの開催について

- 国設阿寒湖畔スキー場では1月13日（日）をキッズデーとして、多くのお子さんやご家族連れの皆さんに訪れていただくイベントを開催いたします。中学生以下のリフトを無料の日とし、お子さんに雪に触れていただく機会をより広めようとするものです。

このイベントは、今年で6回目となりますが、地域のご協力を得て、当スキー場の指定管理者でありますNPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構の自主事業として開催されます。

- 当日は、朝9時より券売所にて中学生以下限定で、リフト1日券の無料配布をはじめ、午後1時から楽しいパフォーマンス満載の「仮装ソリ滑り大会」が開催され、家庭用ゲーム機や32型テレビなどの豪華景品が当たります。

午後2時から、中学生以下限定での雪上宝さがしが開催され、子供用スキーなどの景品を沢山用意しております。会場内には露店コーナーも出店いたしますので、多数のご参加でイベントを盛り上げていただきたいと思います。

どうぞ、冬の日を雪と親しみ、阿寒湖温泉の自然を満喫していただきますよう、ご家族等で、阿寒湖畔スキー場に足を運んでいただきたいと思います。

#### 2. 第35回阿寒湖氷上フェスティバルICE・愛す・阿寒「冬華美」の開催について

- 第35回阿寒湖氷上フェスティバルが、今年は2月1日（金）から3月16日（土）までの44日間、NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構と釧路市の主催により毎晩開催されます。

氷上フェスティバルは、アイヌ舞踊を盛り込んだセレモニーと阿寒湖氷上から打ち上げる「冬華美」をメインに、氷切り体験、氷上ゲーム、様々な雪像、すべり台など、観光客の皆様にご覧いただき、冬の楽しみと体験を存分に味わっていただくフェスティバルです。

■ フェスティバルには全国、海外からのお客様がシーズンで5～6万人が訪れ、沖縄からの「白い北海道ツアー」のお客様が2月14日（木）に訪れるほか、海外からは台湾、香港など東南アジアのお客様も多数訪れ、冬の北海道を体験するメニューとして好評をいただいております。

■ 特に、毎年、フェスティバル開催期間中に訪れる白い北海道ツアーは、沖縄のお客様、約400名がJALのチャーター機を利用して、冬の北海道を体験するツアーで、今年で31回目を迎え、阿寒湖から沖縄に向けて、ラジオの生中継も行われます。

阿寒観光協会の協力を得て沖縄RBC琉球放送が企画、人気パーソナリティ柳卓氏が同行する沖縄でも評判のツアーで、4泊5日の旅のフィナーレを夜の阿寒湖氷上で楽しんでいただく企画となっております。

阿寒湖温泉では、この日を沖縄デーとして、幻想的な氷上でのイベント「火まつり」の儀式やタイマツ行進、冬華美などで暖かいおもてなしを計画しており、当日は私もお迎えする予定で、冬の北海道・釧路・阿寒湖の魅力を存分に満喫していただくよう、PRをしたいと考えております。

■ また、「あいすランド阿寒」は阿寒湖の氷上でワカサギ釣りをはじめ、スノーモビル、バギー、バナナボート、スケートが楽しめる体験フィールドとして1月から3月下旬まで開設され、阿寒湖の冬の名物として観光客の皆様に親しまれております。

既に阿寒湖は結氷し、1月1日から手ぶらで来られても楽しめるワカサギ釣りがオープンしております。

どうぞ、こちらの氷上での体験もフェスティバルともどもお楽しみいただきたいと思っております。

### 3. くしろ冬まつりの開催について

■ 昨年度より名称を変更し、釧路の冬のイベントとして「くしろ冬まつり」を開催しておりますが、本年は2月2日（土）と3日（日）の2日間を会期として開催することとなりました。

ここ数年の暖冬による雪の確保の困難さや、滑り台の安全面なども考慮し、天候に左右されないまつりへの転換を進めているところではありますが、市民や観光客の皆さまが お子さんと一緒になって 雪や氷に触れていただく貴重な場として、皆さまに冬の釧路を楽しんでいただけるような、イベント満載の2日間にしていきたいと考えております。

■ また、昨年は釧路空港初の国際定期便となる、復興航空の台北～釧路便が就航し

たこともあり、台湾人観光客に対してくしろ冬まつりの情報を発信し、より当地への観光客増へつながるよう、取り組みを進めているところであります。

- 会場につきましては、観光国際交流センター前庭をメイン会場とし、連動した形で、MOOのエプロンでは氷の迷路なども開催いたします。

今年の主な内容であります。2月2日(土)に冰雪像引渡し式やNHK主催によるお笑い芸人のステージ、北海道新聞社主催の花火大会などが行われ、3日(日)には歌謡ステージや釧路新聞社主催の宝くじ付きもちまき大会などが行われます。

また、今年度よりお化け屋敷の出展も予定されているなど、盛りだくさんの内容となっております。

- 子どもたちに人気の冰雪像や滑り台は、今年も陸上自衛隊など7団体の皆さんが制作するとともに、観光国際交流センター内では、地場製品の普及と地産地消の促進を目的にメイド・イン・くしろが開催されるほか、消費者まつり、フリーマーケットなどが行われる予定となっております。

## 2. 質疑要旨

(質問)

- ・ 平成25年度の予算編成についてお聞きします。今回の予算編成ではどういった点に着眼していますか。

(市長)

- ・ 平成25年度予算編成の市長ヒアリングが始まっていますが、国の流れを把握し、制度等をしっかり活用するといった対応を行っていかねばならないと思っています。ただ、地方財政計画の発表が2月くらいのようなので、例年の状況を踏まえた中で対応を考えていく必要があると思います。

私にとりまして、今回の予算編成は市長就任2期目をスタートして最初の予算編成となります。昨年12月に「政策プラン」をお示しして、域内循環、人材育成・雇用、安全安心、拠点性をテーマとする4つのビジョンを掲げさせていただきました。すべての事業において、そうしたビジョンと結びついていく、関係づけていくという意識を持ちながら、政策プランを推進していきたいと思っています。

(質問)

- ・ 国の地方財政計画の公表が2月くらいとのことですが、市の予算編成に影響は出てくるのでしょうか。

(市長)

- ・ 来年度予算の歳入に関わることで、地方財政計画の確定が遅くなることは大変だと思います。

(質問)

- ・ 例年ですと2月上旬に市の予算案が発表されていますが、スケジュールはどうなのでしょう。

(市長)

- ・ 通常、地方財政計画は8月に見込みが出され、12月に発表されます。市ではそれを受けて1月に予算編成、2月に市の予算案を発表するといった流れでした。地方財政計画の発表が1月中あるいは2月上旬になるかは分かりませんが、現行の制度に基づいて予算編成作業を行っていきます。市民生活に直結するさまざまな事業がありますので、財源の有無は抜きにヒアリングを行っていく中で、地方財政計画に関する情報をとりながら、予算編成作業を進めていきたいと思っています。

(質問)

- ・ 国では補正予算の話が出ています。これに関連して市が負担する事業もあると思いますが、予算編成ヒアリングではこれら事業のヒアリングも行うのですか。

(市長)

- ・ 国の補正予算に関連する事業については、昨年担当課と個別に相談、協議して要望しています。

(質問)

- ・ そうすると、国の補正予算に関連する事業は、2月市議会に補正予算として提出するのですか。

(市長)

- ・ はい。

(質問)

- ・ 阿寒湖氷上フェスティバルについてお聞きします。2月14日(木)の沖縄デーには市長も参加するとのことですが。

(市長)

- ・ 2月14日午後7時から生放送される沖縄RBC琉球放送の番組に出演させていただきます。これまで毎年お出迎えして感じているのですが、ツアーに参加される沖縄の方たちは、放送中もずっと阿寒湖上において誰一人ホテルに帰られないです。

皆さん寒さを楽しんでいて、これはとても凄いことだと思います。

また、この時期は空気が澄んでいるので花火がとても綺麗です。特にスキー場から見る花火は本当に綺麗で、花火を見るのに絶好の場所だと思います。氷上フェスティバルは44日間と長期間に渡って開催されますので、ぜひご覧いただければと思います。

(質問)

- ・ 今年鳥取市・湯沢市との姉妹都市提携50周年ですが、これに関連してお考えになっていること、あるいは実施したいことなどについてお聞かせください。

(市長)

- ・ 50周年に向けた取り組みにつきましては、一昨年鳥取市、湯沢市とも相談し、今年10月に鳥取市、湯沢市両市長を含めた関係者に来ていただいて、釧路市で記念式典を開催することとしています。前後して釧路市からも鳥取市、湯沢市への訪問を予定しておりまして、私も訪問する予定です。

あわせて今回は50周年という大きな節目ですので、次世代を担う子供達にこの取り組みをいかにつないでいくかということテーマに、つくりを構築していきたいとの相談もしています。

また、姉妹都市である鳥取市、湯沢市に限ったことではありませんが、友好、観光交流都市提携を結んでいる首長の方々に、それぞれの地域の特産を釧路でも食することはできないかとの相談をしています。例えば、鹿児島県出水市ではミカンに絶対的な自信を持っていますが、出水市のミカンは釧路ではほとんど流通していません。岡山県岡山市の白桃、千葉県八千代市のナシ、湯沢市のサクランボも同様です。単なる物産展という形ではなく、果物であれば旬の時期になって地元の市場に出回った時には、釧路の市場でも出回るといった仕組みをお互いにつくっていきたいと思っています。釧路ではししゃもやサンマ、ホッキがありますし、その他にもいろいろなものがあると思います。こういった物産を通じた交流をつくっていききたいという話をしています。

(質問)

- ・ 除雪費についてお聞きします。補正予算の内容についてお聞かせください。

(市長)

- ・ 昨年12月28日に専決処分1億5千万円を追加補正いたしました。

(質問)

- ・ 除雪費について12月での補正予算は初めてなのでしょうか。

(総合政策部長)

- ・ 過去10年ではありません。

(市長)

- ・ 私が市議会議員であった平成5、6年頃の釧路市の除雪費は当初予算で確か7600万円か7800万円だったと思います。その予算が無くなると補正予算を組んで最終的には3億円規模になっていたと記憶しています。それが平成16年度に除雪センター方式にしてからは当初予算から3億4000万円程度としましたので補正予算を組むことは無くなりました。

(質問)

- ・ 今年は全道的にも雪が多いように思いますが、市民生活への影響についてどうお考えですか。

(市長)

- ・ 予算という点で見れば確かに厳しい面はありますが、市民生活の安全安心はさまざまなものの基本ですので、除雪についてはしっかりと対応していくことが大事だと思っています。

昨年度までは積雪が10cmを超えた場合に出動していましたが、昨年1月の1日から2日にかけて8cmの雪が降り、その後、雨になって道路が凍ってツルツル路面になったことがありました。そうした反省を踏まえ、今年度からは積雪量が10cmに至らなくても、次の日の天候や温度を見ながら出動する体制をとっています。担当課においても市民生活の安全安心を守っていくよう努力しています。自然と試合するわけにはいきませんが、例年にない雪の多さに大変だと感じています。

(質問)

- ・ 水面貯木場についてお聞きします。釧路市が水面貯木場の廃止を考えていることについて、昨年末に清里町長、白糠町長、元道議会議長、道議会議員、業界団体、事業者が水面貯木場の利用期間の延長について陳情されています。その点について、今どういう認識をされていますか。また、猶予期間が1年ということですが、これが2年、3年になることはあるのですか。

(市長)

- ・ 皆様がお見えになったということについては重たいことだと考えております。私どもも平成18年から水面貯木場のことについては、やりとりを進めてきたところでありまして、その中で正確に伝わっていない部分もあったかも知れませんが、一つ一つ丁寧な説明をさせていただいてきたつもりです。そういった中で一定の判断をさせていただきました。陳情を受けた際には、今まで進めてきた経過とその判断については尊重していただきたい、との話をさせていただきました。皆さんがお見

えになったことは重く受け止めながら、いろいろな場面、例えば、どちらかで説明が必要になった場合にはしっかり説明をし、ご意見をいただきながら、情報提供を進めていきたい、という話をさせていただきました。